

タイ電力庁元職員 発電所建設が縁 三菱重工など元社員

海を越え交流 41年



ピラパット・チャラヨンさん

41年前に建てられたタイの水力発電所... 高砂製作所などの元社員と、タイの元電力関係者が海を越えた交流を続けている。3月には、約20人がタイの発電所を訪れる。元社員らは「海外のお客さんと友となり、絆を長年深められた」と再会を心待ちにしている。(広岡磨瑠)



当時の記念誌やタイムカプセル用の瓶を手に、タイへの訪問を心待ちにする三菱重工・三菱電機のOBら＝加古川アラザホテル

県内2製作所の20人 来月訪問へ

人が発電所を訪れた。タイの国花「ゴールデン・シャワー」を植樹し、記念碑を電所の案内も計画する。建設中に駐在した元社員が、前国王の死を悼んで、タイを訪れる予定だった。...

依存者らが登壇し、エイズへの理解を深める。エイズへの理解を深めるシンポジウム「エイズと日本社会、その30年の社会的経験」が24日、西宮市の関西学院大であった。...

神戸の専門学校で卒業創作展

150人が腕を振るう

神戸国際調理製菓専門学校(神戸市中央区)の卒業創作展が24日、同校であった。卒業生約150人が個人やグループで料理やお菓子を作り、学んだ技術の集大成として展示した。

料理、お菓子学びの集大成



「卒業創作は、ジビエ(野生鳥獣肉)に初挑戦してみたかった。シカ肉をさばくのが難しかったけど、見栄え良く焼けた」と笑顔を見せていた。(段 貴則)

エイズへの理解を深めるシンポジウム「エイズと日本社会、その30年の社会的経験」が24日、西宮市の関西学院大であった。...



東日本大震災の影響で兵庫に避難した人たちの交流会「みちのくだんわらわ」が2011年の同窓会であった。県内の同窓会が24日、神戸市北区のホテルで、避難者に交流の場を提供してきた。...

エイズへの理解を深める。エイズへの理解を深めるシンポジウム「エイズと日本社会、その30年の社会的経験」が24日、西宮市の関西学院大であった。...

難病のつらさ語り合い。神戸で患者ら30人交流。AEDJ(加古川市)が企画。県内外の患者や家族ら約30人が体験を語り合って悩みを和らげた。

力誇り、「BEGIN」を誇り、「DIAMANTES」など多くのアーティストのアルバムに参加したほか、ブラジルや中国など海外からも高く評価されている。今回は、ロックと琉球古典音楽の融合をテーマに、琉球舞踊や琉球国楽り太鼓と共演する。

楽しむ ロック×琉球音楽。NPO法人 関西沖縄文化研究会(尼崎市、仲村智子)が主催。...

Advertisement for eye care products. Text: '肩まで来てる... 目がツライ... それ、眼精疲労のせいかもしれません。' Includes images of people with eye pain and product packaging for Q&P eye drops.